

令和6年度 事業報告書

自 令和6年 4月 1日

至 令和7年 3月31日

社会福祉法人 日高川町社会福祉協議会

法人運営部門

■法人の基盤整備・強化

1. 各事務所における職員の連携と情報共有等（ミーティングの実施）

毎週月曜日に川辺事務所で会長も同席し、職員によるミーティングを行い、情報共有や事業にかかる事項（コンプライアンス、リスクマネジメント等含め）等を協議した。

2. 理事会

理事会は意思決定機関として、事業経営ならびに法人役員としての責務を果たしながら、本会が抱える様々な課題を協議検討した。

回数 日時	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
第1回 6月6日	理事(9/12) 監事(2/2)	○ 令和5年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件 ○ 令和5年度監事監査報告 ○ 理事の補欠選任候補者の推薦に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会令和6年度定時評議委員会の招集に関する件 ○ 評議員の補欠選任候補者の推薦に関する件 ○ 債権回収不能処理に関する報告 ○ 会長の職務執行状況の報告
第2回 3月18日	理事(12/12) 監事(2/2)	○ 令和6年度一般会計補正予算(案)に関する件 ○ 令和7年度事業計画(案)に関する件 ○ 令和7年度一般会計予算(案)に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会福祉基金設置規程の一部改正に関する件 ○ 令和6年度第2回評議員会の招集に関する件 ○ 会長の職務執行状況の報告

3. 監事会及び三役会

監事は定期監査を3ヶ月ごとに実施し、その都度、預貯金通帳並びに会計諸帳簿の確認を行った。定期監査時には会長・副会長の三役も同席し、口頭にて指摘事項等を告げた。また、理事の業務執行状況を監査する立場から、全ての理事会に出席し意見を述べ、決算監査においては令和5年度の事業及び会計監査を実施し、理事会、評議員会で報告を行った。

三役会も3ヶ月ごとに実施し、事業報告や当面の事業内容等について協議を重ねた。

	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
定期(1回) 4月25日	三役 (2/3) 監事 (2/2)	○ 令和6年1月から3月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和6年3月31日付け残高を確認 ○ 登録ヘルパー採用、ボランティア衛生研修、貸付関係、災害時におけるライオンズクラブとの協定締結の報告 ○ 貸付滞納者案件、今後の予定
決算監査 5月30日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和5年度の法人運営や事業の執行状況、また会計における決算報告などを行う理事会・評議員会前の監査として実施 ○ 主として各種会計諸帳簿ならびに保有する普通・定期預貯金等全般についての監査を実施
定期(2回) 7月25日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和6年4月から6月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和6年6月30日付け残高を確認 ○ 福祉委員会、老人クラブ総会報告等 ○ 福祉委員会質問事項等について、今後の予定
定期(3回) 10月24日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和6年7月から9月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和6年9月30日付け残高を確認 ○ サマーボランティアスクール、職員採用試験、街頭募金、老人クラブ研修旅行等の報告 ○ 訪問介護・訪問入浴介護・障害福祉サービス実地指導の講評 ○ 新年度にむけて、今後の予定
定期(4回) 1月27日	三役 (3/3) 監事 (2/2)	○ 令和6年10月から12月までの会計処理等における各種会計諸帳簿、保有する普通・定期預貯金等の令和6年12月31日付け残高を確認 ○ ふれあい広場、災害見舞金、生活支援体制整備事業、福祉バザー等について報告 ○ 遺言執行、令和6年度社協会費報告 ○ 令和7年度町補助金要求、令和7年度事業計画(案) ○ 今後の予定

4. 評議員会

回数 日時	出席者数 (出席/総数)	議題及び内容
第1回 6月24日	15 / 17	○ 令和5年度事業報告並びに計算書類及び財産目録に関する件 ○ 令和5年度監事監査報告 ○ 入口誠氏を理事として選任する件

第2回 3月28日	10/17	○ 令和6年度一般会計補正予算（案）に関する件 ○ 令和7年度事業計画（案）に関する件 ○ 令和7年度一般会計予算（案）に関する件 ○ 社会福祉法人日高川町社会福祉協議会福祉基金設置規程の一部改正に関する件
--------------	-------	--

5. 住民会員制度（会員募集）

区 分	令和6年度		令和5年度	
	加入数者	金 額	加入数者	金 額
一般会員	2,773名	2,780,000円	2,844名	2,824,000円
特別会員	12名	47,000円	13名	54,000円
施設・団体会員	24団体	135,000円	25団体	235,000円
合 計		2,962,000円		3,113,000円

○一般・特別会員加入率 約 76.8%（令和5年 75.0%）
（加入世帯 2,785世帯 令和6年3月末日高川町世帯数 3,625世帯）

○福祉委員総数 246名（川辺 152名、中津 41名、美山 53名）
（民生児童委員・主任児童委員54名含む）

○福祉委員会議の開催〔3地区〕

川辺・中津・美山の3地区ごとで福祉委員会を開催した。7～8月にかけて福祉委員の皆様方にご協力をいただき各戸への会員募集を実施した。

〈福祉委員会〉

川辺地区	7月3日	防災センター	福祉委員	90名
中津地区	7月4日	日高川交流センター	福祉委員	11名
美山地区	6月7日	山開センター	福祉委員	14名

会議内容：①令和6年度社会福祉協議会事業計画
②福祉委員活動について
③会員（会費）募集について
④福祉バザー開催について

地域福祉活動推進部門

1. 企画・広報事業

（1）町社協だよりの発行

区長のご協力を頂き町内に全戸配布した。

住民の福祉への理解促進のため毎月発行し、社協活動の見える化にも努めている。

（2）ホームページの運用

ホームページにおいて、社協の法人運営の取り組み、事業の紹介や地域の福祉に関する情報を随時掲載した。

(3) その他の情報発信等

必要に応じ地方新聞社２社に取材依頼や記事の掲載を依頼した。また、町内放送やアプリから社協事業のお知らせを発信した。

2. 配食サービス（ふれあいにつこり弁当）

在宅高齢者の生活の支援と生活の質の向上を図るとともに、一人暮らし等高齢者世帯の安否確認を行い高齢者福祉の向上を進めることを目的として毎週１回実施。ボランティア、民生委員児童委員、福祉委員の協力で、昼食または夕食のお弁当を作り配達を行った。

※年間の調理数等の実績は次のとおり

		日高川町		
		川辺地区	中津地区	美山地区
利用者数	79名	31名	11名	37名
配食数	3,678食	1,356食	631食	1,691食
調理ボランティア（実数）	69名	21名	24名	24名
（延べ）	683名	164名	253名	266名
配達ボランティア（実数）	49名	31名	9名	9名
（延べ）	1,045名	303名	418名	324名

◇今年度は、ボナペティ・ヤナギヤ 代表取締役 宮所忠善氏を講師にお招きし、食品の提供における衛生管理等についての研修会を実施した。

▷開催日： 4月22日

▷場所： 日高川交流センター

▷参加人数： 61名

3. 外出支援サービス（移送サービス）

一般の交通機関を利用するのが困難な、高齢者や身体障がい者の方に対して病院等へ送迎するサービスである。公共交通機関の利用が困難な高齢者や身体障がい者にとって非常に有用であった。

車の運転は職員や運転ボランティアが対応した。なお、利用については、登録制としており年会費6,000円の負担を頂いている。

		日高川町		
		川辺地区	中津地区	美山地区
登録者数		25名	8名	10名
利用回数		214回	94回	75回
目的	通院等	210回	94回	73回
	買い物	1回	0回	0回
	手続き	1回	0回	1回
	その他	2回	0回	1回
運転ボランティア		4名	2名	1名
介助ボランティア		0名	0名	0名

4. 福祉車輛貸出サービス

介護を必要とする高齢者や身体障がい児者の方で、車椅子ごと乗れる車を必要とする家族に社協所有の福祉車輛を貸出した。入退院や通院、行事参加、生活を営むための買い物等日常生活の利便性を図ることを目的に実施した。利用料は燃料費のみの負担である。

○ 貸出回数 17回 (川辺16回 中津0回 美山1回)

5. ふれあいいきいきサロン

○高齢者サロン

() 内は前年度

		日高川町		
		川辺地区	中津地区	美山地区
実施グループ数	23ヶ所	8	4	11
開催回数(延べ)	171回(+42)	67回	24回	80回
参加人数	1,934名(+668)	904名	266名	764名

希望される地域には当会から出向き、出張サロンも行った。

○子育てサロン

() 内は前年度

		日高川町		
		川辺地区	中津地区	美山地区
グループ数	1ヶ所		1(±0)	
開催回数(延べ)	0回(-7)		0回	
参加人数	0名(-41)		0名	

6. 喫茶サロン

喫茶サロンはボランティア運営により、年代や性別を問わず、地域住民の誰もが気軽に立ち寄れる「場」としてさまざまな人が参加でき、地域コミュニティとつながる「きっかけづくり」ができる場である。

喫茶サロン名	地区	場所	開催回数	備考
はな広場	三佐	旧たちばな保育所	11回	平成16年3月～
ふたば	和佐	和佐児童館	10回	平成18年10月～
そうがわ茶屋	寒川	さか糸や	12回	平成22年6月～

7. 認知症カフェ(ひだまりカフェ)

令和元年12月から地域包括支援センターとの共催で実施している。認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域住民等、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として徐々に定着しつつある。認知症に関するミニ講座や予防体操、ゲストを迎えてのイベント等趣向を凝らしている。

※開催日は基本毎月第3火曜日

回数	日時	場所	参加人数	備考
第1回	4月16日	全 域 道成寺	24名	
第2回	5月21日	美山地区 山村開発センター	19名	
第3回	6月18日	川辺地区 農改センター	18名	
第4回	7月16日	美山地区 山村開発センター	19名	
第5回	8月27日	中津地区 健康管理センター	11名	
第6回	9月17日	川辺地区 保健センター	15名	
第7回	10月15日	美山地区 山村開発センター	20名	
第8回	11月19日	中津地区 交流センター	7名	
第9回	12月17日	川辺地区 農改センター	22名	
第10回	1月22日	中津地区 交流センター	8名	
第11回	2月18日	美山地区 山村開発センター	27名	
第12回	3月18日	川辺地区 保健センター	31名	
計			221名	

8. ふれあい広場（ひとり暮らし高齢者の集い）

概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、社会参加や外出機会を促進し、対象者同士の親睦を深め、地域とのつながりをつくることを目的に実施した。

	川辺地区	中津地区	美山地区
開催日	11月7日（木）	11月11日（月）	11月13日（水）
行 先	白浜方面	和歌山方面	本宮方面
参加人数	18名	26名	34名

9. 保育所との協働事業（絵手紙・メッセージ作成）

園児と高齢者の世代間交流を目的に、園児が作成した絵手紙や折り紙を配食サービスのお弁当に添えた。今年度も、かわべ保育所・なかつ保育所の園児のみなさんにご協力頂いた。

10. 福祉体験学習

○車椅子体験学習・高齢者疑似体験学習

町内の中学校から車椅子体験や高齢者疑似体験学習の依頼があり、当会より職員を派遣した。

「障がいのある人や介助する人の置かれている状況について理解を深める」また、「高齢による身体の低下を体験することで、高齢者の気持ちを考える」ことを目的として実施した。
また、車いすバスケット用の車いすを使用してのバスケットボールも体験してもらった。

▷日 時： 10月9日（水） ▷参加者： 22名
▷場 所： 丹生中学校

○子ども福祉川柳募集

町内の小学校6年生を対象に「子ども福祉川柳」の募集を実施した。

子供たちにも福祉のことを少しでも考えて行動してもらうことをねらいに、学校のご協力を頂き、福祉に関する内容の川柳を募集した。参加賞として、図書カード（500円分）をお渡しした。応募いただいた作品はホームページにも公表している。

▷参加者 63名

○サマーボランティアスクール

今年度は8月の夏休み期間中、中学生を参加対象に、福祉・ボランティアへの理解を深める事を目的としてサマーボランティアスクールを開催した。

町内の各施設や各事業所等にご協力を頂き、体験学習に取り組んでもらった。

▷参加者 11名

(内訳) かわべ西学童クラブ：1名 わさ学童クラブ：3名 なかつ学童クラブ：2名
かわべ保育所：4名 みやま保育所：1名

11. ボランティアセンターの運営等

ボランティアセンターは誰もが気軽に立ち寄れるボランティア活動の拠点として、より多くの皆さまにボランティア活動に関わっていただけるように、活動先や活動に関する情報の提供等を行った。

○ボランティア数

▷ボランティアグループ数 登録14グループ（川辺8、中津1、美山5）

▷ボランティア総数 207名（川辺93名、中津48名、美山66名）

ボランティアセンター関連業務内容は、次のとおり

- ▷ふれあいにっこり弁当の調理配達ボランティアの調整
- ▷ふれあいいいききサロンへの参加とグループに関する調整
- ▷外出支援における運転ボランティアの調整
- ▷ボランティア保険等加入手続き
- ▷ボランティア活動団体支援・助成

12. 福の市（福祉バザー）

今年度は川辺地区において開催した。住民の皆さんからたくさんの物品をご提供いただき、民生委員児童委員、福祉委員、ボランティアの協力により、収益金を得ることができた。収益金は地域福祉事業等にに使わせていただいた。

【福の市】

- ▷開催日時 令和6年11月30日（土）
- ▷開催場所 川辺西小学校体育館
- ▷売上金 406,820円

【ミニバザー】

- 令和6年12月12日（木）
- 社協川辺事務所
- 88,270円

13. 「愛の日」事業

誰もが持っている温かいまごころを行動に移すきっかけづくりの日として、11月15日を「愛の日」と定めている。本会においての「愛の日」事業の一環として、町内の在宅における重度の寝たきり高齢者に民生委員児童委員や事務局を通じ、プレゼント品を手渡し激励させていただいた。

- ▷対象者32名（川辺19名 中津6名 美山7名） ※前年度39名
※重度の寝たきり高齢者の判断として要介護度4・5の認定者とした

14. 地域たすけあいサービス事業

他から援助を受けることが困難な世帯に対し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう社協に登録した協力員がお手伝いをする住民参加型の福祉有償サービスである。

地域で安心して暮らしていけるよう公的サービスだけでは、まかないきれない地域のニーズを解決するために有償の家事援助等のサービスを提供した。

核家族化が進み、価値観が多様化した現在では、昔ながらの地域の支え合い機能が低下してきている。一方で、日常生活の困りごとを何とかしたいというニーズもある。「地域たすけあいサービス」は、地域にお住まいの方の協力を得ながら、「お互いさま」の気持ちで支え・助け合える風土づくりを進めるしくみである。

※サービス利用は次のとおり（ ）内は前年度

提供回数	延べ時間
300回 複数作業含む (366回)	263. 5時間 (282. 75時間)

- ▷利用者数 20名（川辺14名、中津3名、美山3名）
▷提供協力員数 19名（川辺16名、中津2名、美山1名）
▷件数 356件

【内訳】

- ▷住居等の清掃・整理整頓 ※粗大ゴミ運搬含む 105件
▷調理 40件
▷庭等の草刈り・剪定 48件
▷外出介助 14件
▷その他 149件

15. ひとり親家庭新入学児童ランドセル購入助成事業

町内に住んでいる令和7年4月に小学校に入学する子どもさんがおられる児童扶養手当を受給しているひとり親家庭（母子・父子）、または両親ともおられないご家庭で、助成を希望される方にランドセル購入代金の範囲内で上限2万円を助成する事業である。

- ▷助成件数 6件

16. 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター関係）

町の委託（令和２年度～）により、町全域で第１層コーディネーター、旧町村単位で第２層生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターと協働し、『生活支援体制整備事業』を推進している。今年度は、地域にどのような支え合いがあるのか？「町歩き」を行い、住民の普段の暮らしの中から支え合う関係性を学ばせてもらった。

○生活支援コーディネーターの活動状況

- ▷第１層コーディネーター ６３回
- ▷第２層コーディネーター ６２回
 - ▶「町歩き」・・・１１月２１日（木）・２２日（金）
 - ▶ふれあいいいききサロンへの参加
 - ▶地域包括支援センターとの打ち合わせ会議
 - ▶協議体への参画等

○協議体の委員会の開催

- ▷第１層協議体 令和７年３月１８日
- ▷出席者 ７名

17. お買い物支援事業

買い物に不便を感じている町内居住のひとり暮らし高齢者等を、スーパーマーケット等へ送り迎え、外出や生活支援及び社会参加を支援する。当日、集まった利用者で行先を相談し、実施する。実施する時は、行事保険代として利用者から３００円をいただいている。

今年度、１０月２７日（日）滝頭・愛口地区、２月９日（日）浅間・打尾地区を計画したが参加者はいなかった。

18. フードドライブ事業

令和６年４月よりご家庭で余っている食品を集めて、支援が必要な方や団体へ届ける活動を開始した。この事業は食品ロスを防ぐことも一躍担っている。

- ▷寄付者 延べ２８名 １，３４０点
- ▷物品提供 延べ３１名 ４８７点

19. 在宅介護者の集い

ねたきりや認知症の高齢者等を在宅で介護されている方を対象に、少しでも日頃の介護疲れを癒し、同じ悩みや経験を持つ方々と交流することで、今後の介護の励みにして頂くことを目的に実施した。

- ▷日 時 令和７年３月７日（金）▷参加者 ５名
- ▷行き先 加太方面

福祉サービス利用支援部門

1. 相談事業

(1) ふれあい相談（人権・登記・心配ごと相談）

日常生活での心配ごとや悩みごとを相談できる相談所を開設し、相談員が適切に相談を受けた。状況に応じ専門機関に繋いだりもした。広報としては相談所開設予定表を全戸配布、開設日前日に町内放送で開設日の周知をした。困ったことがあればいつでも相談に応じる体制を取っている。

《相談員体制》

民生委員児童委員 9 名、人権擁護委員 3 名、社協三役 3 名 計 15 名

▷心配ごと相談には民生委員児童委員と社協役員が相談に対応。

▷人権・登記・心配ごと相談には法務局職員、人権擁護委員、民生委員児童委員が相談に対応。

《開設回数ならびに時間》

旧町村ごとに月 1 回 午後 1 時～3 時の事前予約制（相談者があれば対応する方法）

《相談件数》

9 件（川辺 7 件 中津 1 件 美山 1 件）※前年度 9 件

(2) 法律相談等（弁護士による相談）

今年度も 3 回開設し、日常生活上での法律に関わるすべての問題に弁護士が相談に応じた。町民の相続・離婚・金銭関係・土地・交通事故・相続等の法律上の相談に弁護士が応じ、問題解決に向けてのアドバイスをして頂いた。

《相談件数》 13 件（川辺 4 件 中津 5 件 美山 4 件）※前年度 15 件

(3) 調停相談（調停委員による相談）

調停は裁判のように勝ち負けを決めるのではなく、話し合いによりお互いが合意することで、もめ事の解決を図る手続きである。

▷開設日 8 月 22 日（川辺） 12 月 12 日（中津） 3 月 12 日（美山）

▷来談者 0 名 0 名 2 名

2. 福祉サービス利用援助事業

日常生活を送るうえで、自分ひとりでは判断することが難しい障がい者の方々が安心して生活が送れるように、色々な手続きのお手伝いや日常的な金銭管理等の援助を行った。

サービスにあたっては、専門員として本会職員が担当し、生活支援員（臨時 1 名、非常勤 1 名）と情報共有しながら支援した。また、関係機関とも連携し、利用者の生活課題等に対応し、利用者が日常生活にどの程度のお金が必要かを一緒に考え、計画的にお金が使えよう支援をした。また金融機関の預貯金の預け入れや引き出し等が困難である場合には代行し、公共料金

の支払いや手続き、大事な通帳や印鑑の保管等も行い利用者に寄り添った安心のできるサービスとして実施してきた。

- ▷利用者 4名（高齢者0名 知的障がい者1名 精神障がい者2名 その他1名）
- ▷サービス提供回数（訪問・電話等） 62回
- ▷新規契約 0件
- ▷専門員ならびに生活支援員研修 10回（県・県社協・郡広域主催）

3. 資金貸付事業

（1）生活福祉資金貸付事業（本則） 【県社協貸付】

この事業は、低所得世帯への資金の貸付と相談支援を行う制度である。また、その中でも障がい者世帯や高齢者世帯のみが利用できるものもある。

- ▷新規の貸付 0件
- ▷現貸付者数 7件

（2）生活福祉資金特例貸付事業（コロナ資金） 【県社協貸付】

令和5年1月から緊急小口資金・総合支援資金の償還が始まり、貸付世帯への償還支援を行った。毎月、自立相談支援機関の職員と共に個別訪問をし、生活状況等を聞き取り、生活困窮者や金銭管理に問題を抱える人等へのフォローアップを行った。

▷令和6年度償還免除件数

- ▶緊急小口資金 1件 1,419,690円
- ▶総合支援資金 13件 6,723,750円

（3）生活資金特別貸付制度【町社協の資金貸付事業】

この貸付資金は低所得者世帯に対し必要な援助を行い、安定した生活を営むことが出来るようにすることを目的とした無利子の貸付制度である。

今後も貸付相談があれば、世帯の実情、家計収支、将来の見通し、償還計画等を詳細確認しながら、単に貸付するだけでなく、社協の相談機能を活かし背景にある問題を解決していきながら関係機関および民生委員児童委員との連携を図り自立に向けた相談援助を進めていきたい。

- ▷貸付中 5名（令和7年3月末）
- ▷新規貸付 0件⇒3万円以下
- ▷償還完了 0件

在宅福祉サービス部門

1. 訪問介護事業（高齢者・障がい者）

介護保険法ならびに障害者総合支援法に基づき、要介護・要支援者へホームヘルパーによる訪問介護を提供し、在宅生活の支援を行った。

訪問介護員（ホームヘルパー）が、介護者（要介護者・要支援者・障がい者）の自宅を訪問し、利用者が在宅で自立した日常生活が送れるように食事・入浴・排泄などの身体介護をはじめ、掃除・洗濯・調理などの家事面における生活援助等の支援を行った。

介護職員の処遇改善や職場環境の改善に向けた取り組みを推進するとともに、介護職員の質を向上し、より良いサービスを提供できるように努めている。

◇利用者等状況

（ ）内は前年度

	介護保険		障害者総合支援	稼働ヘルパー数
	要介護	要支援		
4月	25名(26名)	21名(16名)	6名(6名)	14名(15名)
5月	27名(24名)	20名(18名)	6名(6名)	15名(14名)
6月	27名(21名)	20名(19名)	6名(6名)	15名(14名)
7月	25名(24名)	22名(19名)	6名(6名)	15名(15名)
8月	25名(25名)	21名(18名)	6名(5名)	15名(14名)
9月	25名(23名)	21名(16名)	6名(6名)	15名(14名)
10月	24名(24名)	21名(18名)	6名(6名)	14名(14名)
11月	23名(23名)	22名(18名)	6名(6名)	14名(14名)
12月	23名(24名)	23名(20名)	6名(6名)	14名(14名)
1月	22名(27名)	23名(20名)	6名(6名)	14名(14名)
2月	21名(30名)	22名(17名)	6名(6名)	14名(14名)
3月	28名(28名)	20名(20名)	6名(6名)	14名(14名)
合計	295名(299名)	256名(219名)	72名(71名)	平均14.4名(14.2名)

2. 訪問入浴介護事業（高齢者・障がい者）

介護認定を受けた方で、自力での入浴が困難な方や様々な理由によりデイサービスなど福祉サービスの利用が困難な方を対象に、身体の清潔を保持、心身機能の維持を図るため、自宅を訪問し入浴サービスを提供した。訪問入浴を行う事業者は町内では社協だけである。

◇利用者等状況

（ ）内は前年度

月	利用者数	訪問回数	従事したスタッフ数
4月	3名(5名)	23回(23回)	4名
5月	4名(7名)	17回(26回)	4名
6月	4名(6名)	16回(22回)	4名
7月	4名(5名)	23回(18回)	4名

8月	4名(4名)	22回(16回)	4名
9月	4名(5名)	18回(21回)	4名
10月	4名(5名)	20回(20回)	4名
11月	4名(4名)	18回(18回)	4名
12月	4名(5名)	18回(11回)	4名
1月	6名(5名)	18回(13回)	4名
2月	6名(5名)	20回(18回)	4名
3月	7名(4名)	14回(14回)	4名
合計	54名(60名)	227回(220回)	

3. 居宅介護支援事業（高齢者）

介護保険法に基づき、要介護・要支援認定者にケアマネジャーがケアプランを作成し、介護保険施設、医療機関との連絡調整、また介護に関する相談支援等を行った。介護保険サービス等の内容について、ご本人や家族と十分に話し合ったうえで、サービス計画の作成やサービスの利用、その他介護に関するいろいろな事柄について支援を行った。

◇利用状況

() 内は前年度

▶居宅介護支援事業

月	利用者数	
	要介護	要支援
4月	35名(37名)	23名(24名)
5月	34名(36名)	23名(26名)
6月	35名(36名)	24名(23名)
7月	35名(35名)	25名(23名)
8月	35名(34名)	24名(25名)
9月	37名(38名)	24名(20名)
10月	37名(38名)	22名(21名)
11月	36名(39名)	23名(23名)
12月	37名(39名)	24名(24名)
1月	34名(38名)	24名(22名)
2月	31名(38名)	23名(21名)
3月	32名(35名)	23名(23名)
合計	418名(443名)	282名(275名)

▶認定調査

月	件数
4月	2件(6件)
5月	1件(5件)
6月	5件(3件)
7月	1件(6件)
8月	5件(2件)
9月	4件(1件)
10月	3件(5件)
11月	6件(2件)
12月	4件(3件)
1月	1件(7件)
2月	3件(2件)
3月	6件(2件)
合計	41件(44件)

4. 福祉用具無料貸出等

在宅の高齢者および障がい者等に対し、日常生活を援助し自立支援を図ることを目的に、社協が所有するベッドや車椅子を貸出した。介護保険の介護認定を受けておられない方や、介護保険認定までのつなぎ期間の方、または入院中の外泊等の場合に一時的に利用された。

介護用ベッドは介護保険制度の福祉用具レンタルの非該当者で且つ所得税非課税世帯への貸出とし、一方、車椅子は介護保険制度のレンタル等に関係なく必要であれば随時貸出をし、利用者や家族には好評であった。

介護認定されている方には、出来るだけ介護保険制度のレンタルを利用いただき、社協の貸出はあくまで認定されるまでのつなぎや傷病等による方への貸出としている。（介護保険制度優先であくまで補完的な役割）

▶保有台数と利用状況

	保有台数			貸出利用人数（延べ）		
	川辺	中津	美山	川辺	中津	美山
介護用ベッド	0台	5台	5台	0件	0件	3件
エアーマット	1台	1台	2台	1件	0件	0件
車椅子	16台	4台	4台	61件	2件	2件
歩行器	1台	2台	0台	1件	0件	0件
計	18台	12台	11台	63件	2件	5件

5. 家族介護用品（紙おむつ等）支給等事業

おおむね65歳以上で寝たきり状態にある在宅の高齢者を介護する家族等に紙おむつを支給した。在宅介護において紙おむつを使用されている方は、毎日の必需品であるので、この事業を利用する方も多く、所得によって費用負担が無料となるので経済的な負担も軽い。

この事業は町の委託を受け実施しており、介護者家族の経済的負担の軽減はもとより、日常におむつ等を必要とする高齢者等の在宅生活を支えている。

また、町内で紙おむつなどを販売している店も少ないので、遠方に買いに行かなくても、最寄りの社協で購入できるので介護者には好評である。なお、購入するのに交通手段がない方には自宅までの配達も行った。

▶利用者内訳

		日高川町		
		川辺	中津	美山
無料	30名（40名）	14名	7名	9名
全額負担	32名（36名）	9名	4名	19名
身体障がい者	3名（5名）	2名	1名	0名
計	65名（81名）	25名	12名	28名

その他

1. 善意銀行運営事業

今年度も善意銀行に町民の皆さまから多額の寄付金を寄せていただき、地域福祉事業に有効に活用させていただいた。地域福祉活動の貴重な財源として一般会計への繰出、歩行で杖が必要な方への杖（善意の杖）の無料配布を行った。

今後も町民の皆さまから寄せられる寄付金や物品は、寄付者の意志を活かした運用に努め、住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのために活用させていただきたい。

○善意銀行寄付金

	件数	金額	備考
香典返し	3 件	2 0 0, 0 0 0 円	
満中陰志	2 3 件	1, 0 6 0, 0 0 0 円	
一般寄付	2 2 件	6, 7 0 4, 3 8 0 円	
合計	4 8 件	7, 9 6 4, 3 8 0 円	前年度 55 件 2, 458, 763 円

○善意銀行配分事業（善意の杖）

▷申請者数 3 9 名（川辺 2 0 名 中津 7 名 美山 1 2 名）

2. 共同募金（赤い羽根募金）

戸別募金は、区長をはじめ各地区の協力により、役場、企業、学校、保育所等から職域募金、学校募金等多くの方々からご協力をいただいた。

なお、街頭募金は 1 0 月 1 日 道成寺、A コープかわべ店、ローソン川辺町小熊店、ふるさと産品販売所に場所をお借りし、理事と事務局で募金活動を行った。また、1 1 月 1 0 日開催の日高川フォレスト祭（美山地区）においては、民生委員児童委員と事務局で募金活動を行った。

○共同募金の実績額 1, 8 6 0, 3 6 5 円 ※前年度 1, 8 4 4, 5 6 9 円

〔内訳〕

- ▷戸別募金 1, 6 2 8, 0 0 0 円
- ▷街頭募金 6 0, 3 5 3 円
- ▷職域募金 9 3, 1 0 9 円
- ▷学校・保育所募金 7 8, 9 0 3 円

3. 防災グッズ（非常用保存セット）の配布

在宅で生活されている、満 7 5 才以上になられた一人暮らし高齢者に、担当の民生委員児童委員や事務局から防災グッズをプレゼントした。災害時等への備えと防災意識の動機づけをしてもらうことを目的に毎年配布している。

○配布数 3 8 名（川辺 8 名 中津 1 6 名 美山 1 4 名）※前年度 44 名

4. 社会福祉協議会会長感謝状の贈呈について

当会の活動に長年にわたり、ご尽力賜った方々に理事会の席上、会長より感謝状を贈呈した。

○表彰日 令和6年6月6日（木）

○場 所 日高川交流センター

○表彰者

- ▷谷 里美様（和佐） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとし18年間活動された。
- ▷森部一成様（原日浦） 外出支援ボランティアとして11年間活動され、また地域協力員として長きにわたり活動された。
- ▷大橋光子様（船津） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして13年間活動された。
- ▷間野澄江様（船津） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして12年間活動され、またふれあいいきいきサロン代表者として活動された。
- ▷谷村ヒサ子様（三十井川） ふれあいにつこり弁当調理ボランティアとして10年間活動された。
- ▷中村宮子様（寒川） 喫茶サロンの運営スタッフとして11年間活動された。